

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
目的	前回の区域区分の変更から18年が経過し、区域区分及び用途地域の境界根拠としている地形地物の変化が生じている。これに伴い東京都で一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	以下の予定で業務を行う。 令和4年度：都市計画素案説明会資料作成及び説明会開催 令和5年度：都市計画原案の作成及び説明会資料作成 令和6年度：都市計画変更告示				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	素案作成	説明会等実施	原案作成
				実績	素案作成	説明会等実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		5,027	5,104	4,059
財源内訳	一般財源	5,027	5,104	4,059
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,393	2,293	2,308
所要人員（人）	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.30	0.30	0.30
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		7,420	7,397	6,367

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度に一般競争入札により3か年の業務委託契約を締結し、都市計画素案を作成した。 令和4年度は、その都市計画素案に基づき説明会資料を作成し、令和5年1月に都市計画素案に係る住民説明会を開催した。	—

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
本事業は、東京都が一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、令和6年度を目途に市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。引き続き、令和5年度の業務計画に基づき、受託業者と連携し、都市計画変更に向けた手続資料等の作成を行う。				
成果	今後の方針			
	コスト	削減	維持	増加
		向上		
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	区画整理 課	区画整理 係	内線 282
	根拠法令等	土地区画整理法			
	目的	市の都市核にふさわしいまちづくりを行うために、将来の商業核形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指す。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	行政機関等が立地している中心部に位置しながら、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にあり、狭い道路に沿って住宅地が立ち並ぶため、土地区画整理事業の実現により都市基盤整備を行う。 (区域：本町一丁目及び榎三丁目の各一部、面積：30.9ha)				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	移転補償件数 (建物移転補償案件及び工作物移転補償案件)	件	目標	73	44
			実績	51	24	
			達成率	70%	55%	
2	仮換地指定率 ※道路等の公共施設工事により、土地の区画を変更し、従前の土地(現在の土地)に代わり、新たに使用可能とする土地(仮換地)を指定した割合	%	目標	80	85	85
			実績	76	83	
			達成率	95%	98%	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)	1,522,493	1,059,252	1,639,540		-
財源内訳	一般財源	621,705	781,654	1,342,295	
	国都支出金	482,350	107,350	126,150	
	その他	418,438	170,248	171,095	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)	1,522,493	1,059,252	1,639,540		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市民のニーズに適合しているか
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響
	影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か
	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度に国や都の補助を受けて実施したものは、建物等の移転補償5件及び道路や公園等の工事3件であり、工程のとおりに進捗することができた。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	多摩都市モノレールの延伸(都市計画決定)に向け、早期に事業を完了させる必要がある。 また、ウクライナ情勢等の影響を受け、工事費や建物の建築費等が高騰しており、これに伴い、補償金等の算定に用いる東京都の工事積算基準や損失補償基準も改訂され、単価が上昇していることから、今後、事業費が増大する見込みである。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本町・榎地区については、本市の都市核として、市の拠点にふさわしい都市機能を集積し、道路、公園などの都市基盤の整備を進めている。モノレール延伸後を見据え、引き続き、今まで以上に親切かつ丁寧な事業説明を行うとともに、数多くの権利者と対話を重ねることで、事業推進を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山工場跡地関連事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係	内線	277
	根拠法令等	都市計画法				
目的	村山工場跡地利用協議会により取りまとめられたまちづくり方針に基づき、土地利用計画の熟度に合わせ、公共施設等の整備を推進し土地利用を進める。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	道路整備計画に関する関係機関協議や土地利用計画の具体化に合わせた都市計画変更の検討などを行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	道路整備計画等に関する関係機関協議の推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）	0	0	0
財源内訳			
一般財源	-	-	-
国都支出金	-	-	-
その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,037	1,452	2,462
人件費			
所要人員（人）	0.13	0.19	0.32
会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	1,037	1,452	2,462

市民・議会等から寄せられた意見	
	—

視点別の分析	内容	必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
地区計画に位置付けられた地区施設の道路整備方針等に関し関係権利者及び関係機関との協議調整を行った。	計画道路の協議に当たっては、東京都の第四次優先整備路線に選定されている立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：立川都市計画道路3・3・3新五日市街道線～武蔵村山市大南一丁目）との接続協議に時間を要する。

今後の方針			
成果	向上	コスト	
		削減	維持
		増加	
		○	

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

村山工場跡地は、地区計画制度により都市基盤施設の整備を図るとともに、地域の活力やにぎわい創出に資する土地利用を誘導し、多様な機能が集積する市の中心市街地としてふさわしいまちづくりを進める必要がある。

引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、道路整備に関する協議調整を行うとともに、都市計画変更に関する検討を行う。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都営村山団地再生計画関連事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 277
	根拠法令等	都市計画法、公営住宅法		
目的	都営村山団地の地域再生及び活性化を図るため、東京都との協定に基づき団地再生計画事業を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	都営村山団地後期計画事業に伴う東京都との協議調整を行い、円滑な建替事業を進める。 後期計画事業：平成27年度～令和12年度（予定）			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	団地後期計画事業、第2期計画、第3期計画、第4期計画に関する協議調整	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
				達成率	—	—	
2	団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整の推進	—	目標	推進	推進	推進	
			実績	推進	推進		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,277	994	1,462	
	所要人員（人）	0.16	0.13	0.19	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,277	994	1,462	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
後期計画事業内の第2期計画及び第3期計画に関する協議調整を進めた。	団地創出用地の将来土地利用に関し、多摩都市モノレールの延伸を見据え、にぎわい創出に資する土地利用を誘導するよう東京都と協議調整を行っていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
都営村山団地後期計画事業の計画的な実施を東京都に要請するとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、市民生活を支援する商業・サービス機能などの誘導について検討を進めていく。引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、建替事業の円滑な推進を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	横田基地軍民共同使用推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 372
	根拠法令等	—			
目的	横田基地の整理・縮小・全面返還に向けた過程の一つとして横田基地の軍民共同使用を推進し、人の交流や物流の拡大により基地周辺地域の活性化を図る。			SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 	
内容	横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	情報収集の実施	—
				実績	実施	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	0	49		令和4年3月予算特別委員会等で「軍民共用の実現は難しいのではないか」、「軍民共用化を推進していくべきである」との意見があった。
財源内訳	一般財源	-	-	49		
	国都支出金	-	-	0		
	その他	-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	206	198	199		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		206	198	248		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		見直しの余地がある	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受益者負担は適切か	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、東京都と本市を含め5市1町から構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会において、情報交換を行った。	東京都及び横田基地周辺自治体で、立場の相違がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 横田基地の民間航空利用について、東京都は継続して取り組む姿勢であることから、「国と東京都の実務者協議会」における動向を注視し、引き続き東京都と連携しながら横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地籍調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係 内線 266
	根拠法令等	国土調査法 国土調査促進特別措置法		
	目的	地積の明確化により、被災後の復旧、復興事業の迅速化を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	予定年度：平成27年度より 調査箇所：大規模国有地、区画整理事業区域、日産工場跡地及び都市計画公園を除く市内全域 調査面積：10.70Km ² 、調査手法 都市再生地積調査事業、官民境界石埋設、図面等作成			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	地籍測量実施面積 (調査、測量工程/閲覧工程)	Km ²	目標	0/0.15	0.13/0	0.11/0.13
				実績	0/0.15	0.13/0	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費(千円)	3,289	31,592	28,313				
財源内訳	一般財源	3,289	9,738				8,279
	国都支出金	0	21,854				20,034
	その他	0	0				0
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,872	2,752	2,770				
人件費	所要人員(人)	0.36	0.36				0.36
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	6,161	34,344	31,083				

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は調査、測量及び地籍簿案の作成を実施した。 令和4年度時点で、事業対象面積(10.7Km ²)に対する実施済面積は0.49Km ² であり、進捗率は5%となっている。	令和3年度に、補助金の交付展開に向けた国との協議を実施しており、その結果、継続して協議していく必要があるため、今後の事業が変更となる可能性がある。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		
維持			
低下			

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、平成27年度から、調査から認証までの各工程を2か年に分けて実施しており、主な工程として①調査、測量、地籍簿案の作成及び②閲覧、認証があり、初年度に調査から地籍簿案の作成までを行い、次年度に地籍簿案の閲覧及び認証を行っている。
 地籍調査によって土地の境界や面積などを正確にし、被災後の復旧や復興作業の迅速化を図るものであることから、今後も継続する必要がある。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	むさしの住宅跡地規制・活用検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	沿線まちづくり 係 内線 279
	根拠法令等	都市計画法		
	目的	むさしの住宅跡地の土地利用転換に合わせて地区計画の変更を行うことにより、活力と秩序ある土地利用を誘導する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	むさしの住宅跡地の土地利用転換に合わせて、多摩都市モノレールの延伸を見据えた新たな土地活用を検討し、地区計画等を活用した活力と秩序ある土地利用を誘導するため、学園二丁目地区の地区計画の変更を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	地区計画の変更	—	目標
				実績	—	検討	
				達成率	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和5年第1回定例会において、むさしの住宅跡地の土地利用に関する検討の進捗状況や、予定している変更内容について質問があった。
事業費（千円）		0	4,818	2,112	
財源内訳	一般財源	-	4,818	2,112	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	1,529	1,539	
	所要人員（人）	0.00	0.20	0.20	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	6,347	3,651	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
むさしの住宅跡地の新たな土地利用の検討及び関係機関との協議を行った。	地区計画の変更には、地権者である財務省の理解を得ながら進める必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、第五次長期総合計画及びモノレール沿線まちづくり構想に基づき、公有地であり一定規模のまとまった土地の利用転換が行われることが想定されるむさしの住宅跡地の新たな土地活用を検討し、学園二丁目地区の地区計画の変更を行うものである。 今後は、地権者である財務省との協議を重ね、令和5年度末に地区計画を変更し、事業完了となる予定である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
	成果	向上																						
維持																								
低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)																								

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：学園一丁目25番地先～複三丁目22番地先、幅員16m、延長約400m）を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	立3・4・39号（学園一丁目25番地先～学園一丁目48番地先）までの約400mの区間を整備するもの。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	年度業務の計画的な推進		—	目標	認可取得	認可取得	推進
					実績	未取得	認可取得	
		達成率	—		—			
2			—	目標	—	—	—	
				実績	—	—		
				達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		12,315	178,560	146,553	
財源内訳	一般財源	0	47,154	0	
	国都支出金	12,315	131,406	146,553	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	6,142	5,885	5,923	
	所要人員（人）	0.77	0.77	0.77	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		18,457	184,445	152,476	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
効果率	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
性	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
			<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>令和3年度における交通管理者協議、事業認可の取得に向けた事前協議を経て、令和4年6月30日付けで事業認可を取得し、同年8月20日に市民に対して用地説明会を開催した。また、事業認可取得に伴い、以下のとおり業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業認可掲示板設置委託 ●不動産鑑定評価委託 ●物件補償及び算定業務委託 ●区域変更公示用図書等作成委託 ●電線共同溝整備に伴う既存ストック等の活用検討委託 ●マンション敷地及び共有私道等用地取得に伴う支援業務委託 	<p>事業期間は平成29年度から令和8年度までの10年間としている。</p> <p>しかし、事業認可取得の遅延のほか、用地取得を進めるに当たり、地権者との折衝においても、区分所有マンションの敷地は所有者全員の承諾が必要なこと、共有私道等の権利者把握が困難なこと、相続放棄による所有者不明の土地の相続財産管理人申立てが必要なことなどの課題がある。</p>

今後の方針																			
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>本事業は、令和4年6月30日付けで東京都知事の事業認可を取得しており、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、東京都と連携協力して道路整備を進めていく。</p> <p>事業の実施に当たっては、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しつつ、当該路線の早期整備に向けて引き続き関係機関との連絡調整を適宜行い、用地取得等を進めていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線に選定された立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	主要市道第17号線～立川都市計画道路3・4・40号松中残堀線まで（幅員12m、延長約680m）について、令和7年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられていることから整備事業の着手に向けた検討を進める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	現況測量、交通量調査等業務の実施	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
				実績	未実施	未実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	-	-	-			
その他	-	-	-			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77			
人件費						
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	80	77	77			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
調査検討未実施	当該路線の整備に当たっては、接続路線である立3・4・40号線と合わせた整備が必要である。 事業予定区間は、計画から時間が経過し、周辺環境が大きく変化するとともに、近年は開発による戸建住宅の建築が散見されるため、実施に当たっては地権者との合意形成や物件補償費の増大が課題である。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
第四次事業化計画において令和7年度までに優先的に整備すべき路線として選定されていることから、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しながら、整備事業の着手について調査検討を行う必要がある。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	用地 係	内線 275
	根拠法令等	都市計画法、道路法			
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線として位置付けられている立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線へ接続する路線であり、当該路線の整備により総合体育館等へのアクセス向上及び沿線の防災安全面などの環境改善を図ることを目的とする。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	青梅街道峰交差点から立3・5・20号線まで（幅員16m、延長約133m）において当該路線を整備する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	当該地の維持管理	—
				実績	維持管理	維持管理
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—
				達成率	—	—

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		562	666	846		—
財源内訳	一般財源	562	666	846		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		642	743	923		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業に係る用地取得は完了しているが、工事着手までの期間において、当該用地の維持管理として年5回の除草作業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ●青梅街道以南の都市計画道路（都道）の整備が未着手であることから、交差点の線形を確定するため、関係機関との調整が必要である。 ●整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要である。 ●事業を休止したため、補助金の導入、事業認可の再取得の可否については現時点では不明である（平成17年度をもって事業認可期間が切れている。）。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
本事業の整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要であり、それが進行するまでは適宜当該用地の除草作業を行い現状維持を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	榎地区まちづくり事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	事業 係 内線 277
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
	目的	榎二丁目地区のまちづくりの整備手法等を検討し、地域住民等の意見も踏まえて整備計画を策定し、秩序ある市街地の整備を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	東西道路のネットワークの構築をはじめ、地域住民の意見を踏まえ地区の課題の洗い出しを行い、榎地区のまちづくりについて検討を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	1	年度業務の計画的な推進			-	目標	推進	推進	推進
						実績	推進	推進	
達成率			-	-					
2	-	-	目標	-	-	-			
			実績	-	-				
			達成率	-	-				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		14,102	13,420	97,570
財源内訳	一般財源	14,102	13,420	97,570
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,590	3,439	4,923
	所要人員(人)	0.45	0.45	0.64
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		17,692	16,859	102,493

市民・議会等から寄せられた意見

市議会定例会で以下の質問があった。

- 平成27年第1回定例会：榎地区まちづくり事業と江戸街道について
- 平成28年第1回定例会：江戸街道の安全対策と榎地区など周辺地域のまちづくりについて
- 令和元年第2回定例会：江戸街道の直進化について
- 令和3年第4回定例会：江戸街道の渋滞解消について

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度において立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の都市計画道路の変更を行っており、令和4年度は都市計画道路にかかる土地を所有するなど影響を受ける地権者に対し戸別訪問を実施し、意向の確認を行った。また、まちづくりについて、有識者を招き、まちづくり懇談会を実施した。	都市計画道路の整備の推進だけでなく、榎地区全体のまちづくりについて市民と協働で調査検討を行っていく必要がある。 また、都市計画道路の築造には地権者の同意が必要であるため、反対の意見もある中、いかに同意を得ていくかが課題である。

今後の方針	
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、幹線道路の整備を推進する必要がある。今後も本事業を継続し、市民と協働しよりよいまちづくりを目指していく。	
立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の整備について、令和5年度から工事以外のコンサルタント業務を11年の業務包括委託により委託し、令和14年度の供用開始を目指す。	
【今後の予定】	
●令和5年度：事業認可取得、補償調査等	
●令和6年度：用地交渉等	
●令和7年度～令和9年度：用地取得、物件補償等	
●令和9年度～令和13年度：道路築造工事等	

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 2号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
	目的	都市核地区土地区画整理事業の進捗、大規模商業施設の増床計画、多摩都市モノレールの延伸による歩行者量の増加を見据え、快適な歩行者空間の確保を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	主要市道第2号線（江戸街道）と都道59号八王子武蔵村山線（多摩大橋通り）の交差点東側の歩道拡幅（延長：約150m、幅員：13.0m～16.0m）のため、榎一丁目6番地先において用地取得及び歩道拡幅を行い、ゆとりある歩行者空間を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	整備時期等に関する調査検討	—
				実績	調査検討	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		80	77	77	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
周辺の土地開発等の動向把握を行った。	周辺の土地利用動向を踏まえつつ、整備時期等を検討する必要がある。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
都道59号線との交差点東側の歩道拡幅について整備検討を行うものであり、当該路線の北側については、区画整理課が所管する「都市核地区土地区画整理事業」により用地を確保し、南側を本事業において進めることとしている。 市民の安全で快適な交通を確保するため、幹線道路との有機的な結び付きに配慮しながら、土地区画整理事業を始めとした周辺の土地利用の動向を見極め、歩行空間の確保に関する調査検討を行った上で用地取得等に着手していく。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 12号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	道路法		
目的	地域防災計画で指定されている災害時の緊急活動重要路線として整備するとともに、都市計画マスタープランで示されている、補助幹線道路としての道路ネットワークの整備を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	延長約370m、現況幅員5.46mから10.57mの道路を12mに拡幅（交差点部14m）する。用地買収面積は約2,820㎡（公社先行取得分含む。）。平成28年度から令和6年度までは用地取得、令和7年度から一部道路工事を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	用地取得進捗率	%
			実績	54.5	70.9	
			達成率	84%	103%	
2	道路築造進捗率	%	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	55,415	63,272	13,715			
国都支出金	63,571	52,177	37,470			
その他	15,400	0	35,300			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	1,452	1,241			
所要人員（人）	0.06	0.19	0.16			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	134,865	116,901	87,726			

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性	
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、当初2件の用地取得を目指していたが、予定にはなかった地権者について急遽契約がまとまり2件増え、合計4件の取得へとつながった。 また、今後の用地取得へ向け地権者に対し複数回折衝を行った。 さらに、当該路線の無電柱化の予備設計を行った。	用地取得については、地権者の事業への理解が必要であり、用地取得が進むにつれて計画的な用地取得の見通しを立てることが難しくなるが、引き続き丁寧な説明に努めていく。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																							
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
道路の供用開始へ向け進捗するほど用地取得は難航してくると予想しているが、引き続き丁寧な説明をして用地取得に努める方針である。 また、道路築造については、東京都が推進している無電柱化の状況を勘案し、当該路線に無電柱化を導入することとしており、令和5年度には、無電柱化について詳細設計を行う。 今後、用地取得の進捗に合わせて一部道路の先行整備について検討を始め、早期の供用開始に努める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針				成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
今後の方針																										
成果	コスト																									
	削減	維持	増加																							
	向上			○																						
維持																										
低下																										

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 4号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	主要な市道である当該路線は工業地域内の道路であり、大型車両の通行によって路面の損傷が激しいため、安全で快適な状態に改修する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	
内容	主要市道第4号線（伊奈平南通り）のうち都道162号三ツ木八王子線（残堀街道）から都道59号八王子武蔵村山線（多摩大橋通り）までの東区間において、舗装打換を実施した（幅員10m、工事延長=544.9m、舗装工=3,438㎡）。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装工	一式
			実績	-	1	
			達成率	-	100%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	54,283	0
財源内訳	一般財源	-	39,883	-
	国都支出金	-	14,400	-
	その他	-	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	1,529	0
	所要人員（人）	0.10	0.20	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		798	55,812	0

市民・議会等から寄せられた意見

毎年、沿道に居住する住民から振動や騒音に関する苦情が寄せられており、対応に苦慮していた。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
当該路線は、平成5年度に同区間の改修工事を実施しており、今回の改修工事は30年ぶりとなる。	今回の改修は、車道部分を対象とし歩道部分は含まれていない。 また、当該路線のうち残堀街道から主要市道第3号線（平和通り）までの西側（伊奈平五丁目61番地付近～伊奈平五丁目82番地付近）は未改修であることから、当該区間の損傷箇所については別途補修工事が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該路線の改修区間については、工業地域内のため大型車両の通行が多く路面の損傷が激しいことから、安全で快適な状態するため令和4年度に舗装改修工事を実施したため本事業は終了となる。 今後は、今回の舗装改修に含まれていない当該路線の西区間（伊奈平五丁目61番地付近～伊奈平五丁目82番地付近）についても、路面の状況を確認しながら、必要に応じて損傷箇所の補修工事を行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国立感染症研究所周辺道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法 国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金補助要綱		
目的	国立感染症研究所の周辺道路のうち、損傷等による道路環境の悪い路線について、国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金を活用して順次改修し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	国立村山医療センター北側道路（主）21号線、区間：学園二丁目37番地先～神明一丁目50番地先、幅員5.5m～8.0m）や江戸街道（主）1号線、区間：学園通り交差点～団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m）などの幹線道路及び生活道路の劣化が認められる箇所について補助金を活用し舗装等の改修工事を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装等改修工事	路線
			実績	3	—	
			達成率	100%	—	
2	国立感染症研究所周辺道路舗装構造評価委託	一式	目標	—	1	—
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		23,840	737	127,344
財源内訳	一般財源	0	0	0
	国都支出金	23,840	737	127,344
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	1,529	1,539
	所要人員（人）	0.10	0.20	0.20
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		24,638	2,266	128,883

市民・議会等から寄せられた意見

毎年、沿道に居住する住民から振動や騒音被害に関する苦情が寄せられており、対応に苦慮している。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和5年度に市道のうち最も重要な主要市道第1号線（江戸街道）の改修を行うことから、改修に備えて道路の劣化度を測定した。 ●国立感染症研究所周辺道路舗装構造評価委託 区間：学園四丁目12番地先から大南五丁目68番地先まで 委託料：605,000円 ●路上路盤再生工配合設計委託 区間：学園三丁目96番地先から大南五丁目68番地先まで 委託料：132,000円	本事業の主な財源である「国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金」は、他の公共事業にも充当されているため、単年度では江戸街道の全面改修工事を施工できず2か年にわたるため時間を要する。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
成果	本事業は、国立感染症研究所村山庁舎周辺の安全対策や災害・事故対応及び避難対応の更なる強化、周辺住民の生活環境に配慮した環境整備を図ることを目的として国から交付される「国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金」を活用して、同研究所施設周辺の道路整備を行うものである。 令和5年度は主要市道第1号線（江戸街道）を改修することとしており、今後も補助金を活用し、住民の避難路となるような路線の整備に努めていく。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
成果	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 66号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 66号線の施工箇所は新青梅街道との交差点部であり、当該路線の拡幅により現在発生している新青梅街道からの左折車の一時停止や(主) 66号線上での譲り合いをなくし、円滑な通行を可能とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	(主) 66号線(区間: 神明四丁目75番地先から新青梅街道までの幅員6m・延長約54m)の拡幅部分については、既に土地開発公社が道路用地として先行取得しており、当該用地を市が買い戻して道路を築造する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				目標	実績	達成率
1	用地取得件数	箇所	目標	1	1	1
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	拡幅工事件数	件	目標	1	1	1
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		1	1	1
財源内訳	一般財源	1	1	1
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
会計年度任用職員以外の職員(千円)		80	77	77
人件費	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		81	78	78

市民・議会等から寄せられた意見	
当該路線の沿道に居住する住民からは、早期の施工を求める問合せが定期的に届いている。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成26年度から土地開発公社の借入金に対する利子補給を実施しており、令和4年度は247円であった。	—

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
東京都が実施する新青梅街道の拡幅事業の進捗と合わせ、実施計画事業として要求する。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市道隅切等整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
目的	見通しの悪い交差点等における視認性の向上を目的とし、隅切りを設置するために必要な用地を買収する事業。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	昭和48年度から事業開始し、令和4年度末までの実績は341箇所である。毎年1、2箇所程度準備していく計画である。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	隅切等事業整備箇所数	箇所
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		707	164	2,250		警察から、道路交差点の視通不良による事故のおそれがあるため、道路管理者として対策するように要望があった。
財源内訳	一般財源	707	164	2,250		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	383	385		
	所要人員（人）	0.01	0.05	0.05		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		787	547	2,635		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度実績は用地取得費164千円となった。 【昭和48年度から令和4年度末までの累計（実績）】 整備等実施箇所：341箇所 用地取得費：148,464千円 物件補償費：15,054千円 測量調査委託料：8,299千円 不動産鑑定評価委託料：7,152千円 合計：178,969千円	隅切り等用地取得に当たって、用地の交渉や用地引渡しまでの更地化に時間を要することから、年度をまたぐことも想定される。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、市民要望等に応じていく。																						
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	境界確認委託事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
	目的	道路境界確定業務において、有資格者（土地家屋調査士）に道路境界線の検討及び調整業務を委託することで、一部事務の負担軽減を図るとともに、申請に対し正確かつ迅速に対応することを目的とする。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	職員が行っている境界確定事務の一部を委託する。（令和4年度から実施）					

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	境界確認委託箇所数	箇所	目標	—	10	10
				実績	—	2	
達成率				—	20%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	393	1,590	
財源内訳	一般財源	-	393	1,590	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	383	385	
	所要人員（人）	0.00	0.05	0.05	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	776	1,975	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
2箇所（本町及び中原）において、委託を実施した。	道路の境界確定に係る最終的な判断は市が行うが、委託することで境界確定事務における職員の技術力の低下が懸念される。

今後の方針					
成果	向上 維持 低下	コスト			
		削減	維持	増加	
				○	

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

近年、地籍調査事業や不要市道の廃道検討などの新規事業の実施に伴い、職員一人当たりの事務量が増加傾向にあるため、境界確定に係る一部業務の委託化により職員の負担軽減を図るものである。
引き続き本事業を継続し、業務を正確かつ迅速に対応できるよう委託先と業務精度の向上や効率化を進め、事務の負担軽減を行う。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路等ストック総点検事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	経年劣化に起因する事故防止を目的として平成25年度から全ての道路管理者に義務付けられたものであり、舗装・橋りょう・トンネル・道路付属物（街路灯や道路反射鏡等）を5年に1度のサイクルで点検するもの。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	本市では次に掲げるものを5年に一度点検している。 道路反射鏡（1,778基）、トンネル（4本）、橋梁（59鏡）、防犯灯（5,011灯）、道路舗装（幅員4.5m以上で延長108,228m）及び街路灯（2,194灯）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	道路反射鏡点検委託	一式
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	道路ストック（トンネル）総点検委託	一式	目標	—	1	—
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	5,357	19,805	
財源内訳	一般財源	—	5,357	19,805	
	国都支出金	—	0	0	
	その他	—	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	1,529	1,539	
	所要人員（人）	0.01	0.20	0.20	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		80	6,886	21,344	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●道路反射鏡点検委託（3,223,000円） ●トンネル点検委託（2,134,000円） 	法定化された橋りょう及びトンネルの点検においては、専門的な技術を要するため委託料が高額となる。 また、道路舗装については、国への報告は行わないものの、調査対象の延長が長い上、ひび割れやわだち量を測定する必要があり、同様に高額となる。

今後の方針																					
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、トンネル天井板の安全管理が不十分で劣化を見逃した結果、天井板の崩落に巻き込まれて9人が死亡した重大事故の発生を契機として、落下、倒壊による第三者被害の防止（重大事故防止を含む。）の観点から道路ストック総点検が全道路管理者に義務付けられたため実施するものである。 国や他の自治体と同様、本市においてもトンネルや橋を複数箇所管理していることから、今後も、適切な維持管理を行いながらより安全に施設を供用するために本事業を継続していく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
今後の方針		コスト																			
成果	向上	削減	維持	増加																	
	維持			○																	
低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	既設道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
	目的	市が管理する道路における小規模な舗装及び街きよ等の補修を実施するための工事請負費であり、危険性や重大性の高いものから順位をつけて道路を整備し、道路環境の改善を図る。	SDGsの取組	
内容	本事業の内訳は、100～300万円程度の舗装改修工事が中心である。		11 住み続けられるまちづくりを 	

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	舗装等改修工事	箇所
			実績	29	26	
			達成率	145%	130%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		46,017	52,183	45,000	
財源内訳	一般財源	4,617	6,583	45,000	
	国都支出金	41,400	45,600	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	19,940	19,105	19,230	
	所要人員(人)	2.50	2.50	2.50	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		65,957	71,288	64,230	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●その1工事(14箇所)：23,358,756円 ●その2工事(12箇所)：28,607,152円 ●中原休憩所トイレ改修工事：216,700円	直営以外の補修工事は、その大部分を本事業により実施している。既設道路は経年劣化が進行し、現在の予算規模では将来的に多額の費用を要する。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
安全で円滑な交通環境を確保するため、一般市道等における道路破損箇所の補修等を実施するものであり、施工箇所と工法を精査しながら事業を執行する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上	○			維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	私道整備補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	私有道路整備事業費補助金交付要綱		
	目的	私有道路の整備工事等に要する費用に対して補助金を交付することにより、私有道路における交通安全の確保と利用者の生活環境の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	補助率は、路面舗装、雨水排水施設及び街きよ整備の各工事は8割、雨水排水施設浚渫作業は5割としている（いずれも見積額と基準額を比較し、少ない額を補助する）。			
対象（交付先）	私有道路の整備工事等を行う者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	整備工事等	箇所
			実績	1	2	
			達成率	50%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	635			1,157			1,000				
	一般財源	635			1,157			1,000				
	国都支出金	0			0			0				
	その他	0			0			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197			1,147			1,154				
	所要人員（人）	0.15			0.15			0.15				
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0				
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00				
合計（補助金+人件費）		1,832			2,304			2,154				

市民・議会等から寄せられた意見

市民や議員からは、それぞれ例年1、2件程度の相談が寄せられる。

他市等の状況

【令和4年6月1日現在の26市の状況】

- 全額市費対応：立川市ほか14市
- 補助金制度：八王子市ほか8市
- 市役所非関与：青梅市、清瀬市

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	0			0			0				
	市補助金	-			-			-				
	会費	-			-			-				
	繰越金	-			-			-				
	事業収入	-			-			-				
支出	総額（千円）	0			0			0				
	交際費、飲食費	-			-			-				
	人件費	-			-			-				
	事業経費	-			-			-				
	その他	-			-			-				

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	1,157
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度の実績は以下のとおり。 【実施箇所】①残堀4-76-11、②伊奈平6-59-9 【工事内容】①雨水集水樹浸透化工（1基） ②雨水浸透施設埋設工（1基） 【工事代金】①467,500円、②1,344,420円 【補助金額】①80,820円、②1,075,536円	補助率を下げると、私有道路の所有者による維持管理はおろそかとなる可能性が高い。 令和4年度に多摩26市の運用状況を調査した結果、事業未実施は2市、全額市費負担は15市、補助金制度は9市（補助率内訳：9割2市、8割5市、7割1市、5割1市）であり、一般交通に私有道路が供されている実態からも、負担割合を変更することは難しい。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、平成23年度まで申請に基づき市が改修工事を実施していたが、平成24年度から現在の補助金制度へ移行した。
私有道路における交通安全の確保や市民の生活環境を整備する上で必要であることから、引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空家等対策計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 3 住宅・宅地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	開発・住宅 係 内線 278
	根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
	目的	空家等対策について効率的かつ効果的に実施するため、市内における空き家の利活用や適正管理、除去を含めた空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための計画（以下「空家等対策計画」という。）を策定する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	空家等対策を推進するための具体的施策を定めるとともに、具体的施策を推進するための体制を計画に定めるもの。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		1	空家等対策計画の策定	—	目標	検討	空家等実態調査	計画策定
					実績	検討	空家等実態調査	
					達成率	—	—	
		2	—	—	目標	—	—	—
					実績	—	—	
	達成率				—	—		
	事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 空き家問題は、市議会一般質問において、ほぼ毎回取り上げられており、その中で空き家対策については空家等対策計画の中で検討するとの答弁を行っている。
	事業費（千円）				0	12,100	8,250	
	財源内訳	一般財源				-	3,025	
国都支出金				-	9,075	3,924		
その他				-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				479	994	1,000	
	所要人員（人）				0.06	0.13	0.13	
	会計年度任用職員（千円）				0	0	0	
	所要人員（人）				0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）				479	13,094	9,250		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	市内の空家等の実態を把握するため、市内全域の建物及びその敷地を対象として空家等実態調査（実施期間：令和4年5月19日～令和5年3月15日）を実施し、空家等の件数及び空き家率、町丁目別の空家等の集計、不良などを調査した。 調査結果の分析、課題の抽出等を行い令和5年3月に「武蔵村山市空家等実態調査報告書」として取りまとめた。	—
	今後の方針	

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

今後は、令和4年度に作成した「武蔵村山市空家等実態調査報告書」を基礎資料として、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための空家等対策計画を策定する。また、実効性のある空家等対策計画とするため、外部委員会及び庁内検討委員会の意見を伺いながら、検討を進めていく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公共汚水柵設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	公共汚水柵設置に関する取扱基準		
	目的	住宅等の新設等に伴い必要となる公共汚水柵の整備を行う。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 
内容	公共汚水柵の整備を毎年度適宜実施する（平均15箇所）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	※市民からの設置要望に対し、市が設置する事業であるため、評価指標を設定することが困難。	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		11,623	8,586	9,000		—
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	11,623	8,586	9,000		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	639	612	616		
	所要人員（人）	0.08	0.08	0.08		
	会計年度任用職員（千円）	27	29	29		
	所要人員（人）	0.02	0.02	0.02		
合計（事業費+人件費）		12,289	9,227	9,645		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度は、11件の公共汚水柵の設置申請があり、全てに対し設置を行った。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
今後も引き続き、公共汚水柵の設置要望に対し設置を行っていく。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法		
目的	武蔵村山市下水道ストックマネジメント計画及び武蔵村山市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に点検、調査、施設の改築等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	1期当たり7年（点検調査（2年）、計画策定（1年）、実施設計及び工事（4年））かけて実施し、第1期から第7期（令和2年度から令和26年度）の7つの工期に分けて実施する。※各期を一部重複して進めていくため最終年度は令和26年度の予定となっている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了までに要する全ての作業工程（7作業×7工期=49工程）に対する事業進捗率	%
			実績	4	6.1	
			達成率	100%	100%	
2		—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		44,325	19,710	111,840	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	8,925	5,775	11,865	
	その他	35,400	13,935	99,975	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231	
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		44,565	19,940	112,071	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、第1期で実施した2年間分の調査結果（マンホールふた箇所=1,145箇所、管きょ延長=27,480m）を受け、改築に必要なポリウムを精査し、工事の計画を策定した。 事業完了までに要する全49工程のうち、3工程まで終了し事業進捗率は6.1%となった。	公共下水道管のストックを継続して適正に維持管理していく上で本事業は必要不可欠であるが、市内全域の管きょ延長約273Kmを対象に1期7年、7期にわたる長期の事業となり、事業費が膨大である。 また、第7期が完了した時点で、また第1期に戻り永続的に事業を進めていくことが予想される。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度については、令和4年度に策定した第1期の計画に基づき令和6年度以降に実施する工事の基本設計及び令和6年度工事の詳細設計を実施する。 今後も継続してスケジュールに沿って事業実施を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	管渠改良事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係	内線	267
	根拠法令等	下水道法				
	目的	交差点拡幅等の道路改良の際に、道路下に埋設している下水道管について移設する必要が生じるため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。			SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	※交差点拡幅等の道路改良事業に伴い発生する事業のため、評価指標を設定することが困難。	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	0	0	0			
その他	72,473	40,206	108,425			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	1,452	4,591			
所要人員(人)	0.06	0.19	0.60			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	72,952	41,658	113,016			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、都道交差点改良工事に伴う管きよ改良工事を1件実施した。	すいすいプラン(交差点改良事業)等の東京都の事業に伴う管きよ敷設替えについては、都の事業進捗状況に左右されるため、敷設替えを行う時期が変更となる可能性がある。 また、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、事業費が数十億円必要となる試算である。令和6年度より工事実施予定である。

今後の方針			
成果	向上	削減	
		維持	増加
		維持	
低下			

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

令和5年度については、交差点改良に伴う改良工事2件、空堀川河川改修工事に伴う管きよ改良工事1件、新青梅街道拡幅に伴う污水管移設の基本設計等を予定している。

事務事業の推進に当たっての課題に記載したとおり、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、工事費等の事業費及び従事するための業務量が膨れ上がると想定している。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水管理総合計画策定事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法等		
	目的	下水道法改正により浸水被害を防ぐべき目標降雨を下水道事業計画に位置付けることが規定され、雨水対策に関する各事業を計画的に進めていく必要があるため、当該計画を策定する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	現在進めている各浸水被害対策事業の連携を図りつつ計画的に進めていくために、基本的な事項を定める。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		1	雨水管理総合計画策定	—	目標	—	素案作成	計画策定
					実績	—	素案作成	
					達成率	—	—	
		2	—	—	目標	—	—	—
					実績	—	—	
	達成率				—	—		
	事業経費				令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
	事業費(千円)				0	6,844	1,100	
	財源内訳	一般財源				-	6,844	
国都支出金				-	0	0		
その他				-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				0	994	1,000	
	所要人員(人)				0.00	0.13	0.13	
	会計年度任用職員(千円)				0	0	0	
	所要人員(人)				0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)				0	7,838	2,100		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	令和4年度は、委託により雨水管理総合計画の素案を作成した。
	事務事業の推進に当たっての課題	治水に関わる部署が多岐に渡るため、関係者協議(協議先は計画に定める内容による。)に係る業務量が多い。 特に河川への雨水放流量に関する河川管理者との協議は期間と労力を要することが想定される。

所管課の評価	今後の方針			
	【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
	令和5年度については、令和4年度に作成した計画の素案に基づき、河川部局と協議を進めていく予定である。 また、計画の策定後は、計画に基づいて市内各所の雨水管の整備を進めていく予定である。			
	成果	今後の方針		
		コスト		
削減		維持	増加	
向上			○	
維持				
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空堀川上流雨水幹線整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	下水道 係	内線	255
	根拠法令等	下水道法				
	目的	本市南東部の大南地区は雨水の排出先である空堀川より地盤が低く、本市単独で河川に排出することが困難であるため、立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する「流域雨水幹線」を、東京都下水道局流域下水道本部において施設整備することが決定し整備を進めた。関係市町は、その建設に係る費用の一部を負担する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	平成30年度：空堀川流域広域雨水整備検討協議会及び幹事会の開催 整備手法の検討・方針決定 令和元年度～令和4年度：設計及び建設局河川部との協議等 令和4年度～令和12年度：工事					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	設計及び建設局河川部との協議等	—
				実績	推進	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
事業費（千円）	2,218	3,556	138,295	—		
財源内訳						
一般財源	2,218	3,556	138,295			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	2,218	3,556	138,295			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
空堀川雨水幹線実施設計委託、支障物件の移設等を実施した。	雨水に関する費用であることから、一般会計の負担となるが、財源は一般会計からの繰出金となるので、工事の内容によっては、年度ごとの負担にばらつきがある。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
	向上		○
維持			
低下			

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

東京都が整備する立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する流域雨水幹線の整備費を負担するものであり、抜本的な雨水対策を図るため、東京都及び関係市との連携による整備の促進が求められることから、今後も継続する必要がある。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

事務事業の概要

事務事業の実施状況

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	家庭ごみ有料化及び戸別収集導入事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル				
	所管部署	環境部	ごみ対策課	減量推進係	内線	292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画				
目的	良好な環境の次世代への継承、ごみの減量及び資源化の推進、排出量に 応じた負担の公平性の確保及びごみに対する意識の向上を目的とし、家庭 ごみ有料化及び戸別収集の導入を推進する。				SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に当たり、実施計画の策定など、具 体的事項の検討を進めるとともに、ごみに関する意識啓発を目的としたごみ 情報誌の発行等、市民への周知を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	ごみ情報誌の発行回数	回
			実績	4	4	
			達成率	100%	100%	
2	排出物原単位（市民1人1日当たりのごみ、資 源の排出量）	g/人日	目標	740	683	674
			実績	772.4	741.7	
			達成率	96%	92%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 廃棄物減量等推進審議会からの「家庭ご み有料化及び戸別収集への移行に係る実施 方法について」の答申において、「導入後 においても効果が持続するよう、減量効 果、収支などの成果及びごみ処理に係る経 費について分かりやすく公表し、更なる理 解を醸成するよう努められたい」との意見 をいただいている。
事業費（千円）		2,675	543,207	0	
財源内訳	一般財源	2,675	144,321	-	
	国都支出金	0	127,819	-	
	その他	0	271,067	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	14,437	41,037	0	
	所要人員（人）	1.81	5.37	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		17,112	584,244	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に向けた取組として、令和4年4月から同年9月までにかけて戸別収集導入後の排出場所調査を実施した。</p> <p>また、同年6月に市民説明会を開催するとともに、有料化・戸別収集導入後のごみの出し方等を要約した説明動画を配信した。</p> <p>さらに、同年9月には、有料化・戸別収集に関する問合せに迅速に回答するため、コールセンターを開設するとともに、指定収集袋の流通を開始した。</p> <p>上記の取組を経て、同年10月から家庭ごみ有料化及び戸別収集を開始した。</p>	<p>ごみの減量及び資源化の推進に対して、市民の意識醸成を図り、より一層の意欲が得られるように、家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入による成果を示していく必要がある。</p>

今後の方針																						
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>家庭ごみ有料化及び戸別収集については、令和4年10月に導入を完了した。しかしながら、家庭ごみ有料化及び戸別収集による減量効果等については、引き続き検証を行い、更なる理解を醸成するため、市民への周知を図っていく。</p> <p>また、より一層のごみの減量を推進するため、新たなごみ減量施策について検討を進めていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ごみ集積所管理充実支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境部	ごみ対策課	減量推進係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市ごみ集積所管理充実支援補助金交付要綱		
	目的	集合住宅におけるごみ集積所の適正な管理を図るため、ごみ集積所の管理の充実に資する事業を行う団体等に対して補助金を交付する。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任
内容	集合住宅のごみ集積所を清潔に管理するために必要な啓発活動又は管理活動（ごみ集積設備の購入、周知啓発用チラシの作成、管理カメラの購入及び設置等）に係る経費の一部を補助する。			
対象（交付先）	集合住宅を管理する市内の自治会及び管理会社等			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助件数	件
			実績	—	57	—
			達成率	—	25%	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	0	3,694	0	
	一般財源	—	3,694	—	
	国都支出金	—	0	—	他市等の状況
	その他	—	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	994	0	家庭ごみ有料化の導入を機に同様の補助事業を実施した自治体は、26市のうち本市のみである。
	所要人員（人）	0.00	0.13	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		0	4,688	0	

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途										
収入	総額（千円）	0	0	0		<table border="1"> <tr> <td>交付金額（千円）</td> <td>3,694</td> </tr> <tr> <td>使途内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	交付金額（千円）	3,694	使途内訳						
	交付金額（千円）	3,694													
	使途内訳														
	市補助金	—	—	—											
	会費	—	—	—											
	繰越金	—	—	—											
	事業収入	—	—	—											
支出	総額（千円）	0	0	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">割合（％）</th> </tr> <tr> <td>団体収入に占める補助金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>団体収入に占める繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交付金額に対する繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> </table>	割合（％）		団体収入に占める補助金の割合	—	団体収入に占める繰越金の割合	—	交付金額に対する繰越金の割合	—		
	割合（％）														
	団体収入に占める補助金の割合	—													
	団体収入に占める繰越金の割合	—													
	交付金額に対する繰越金の割合	—													
	交際費、飲食費	—	—	—											
	人件費	—	—	—											
	事業経費	—	—	—											
	その他	—	—	—											

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当				

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年4月から申請の受付を開始するとともに、市報や市ホームページへの掲載、関係団体等への通知等により本補助金を周知し、57件の補助を行った。	当初想定していたよりも自治会からの申請件数が少なかったため、自治会が抱えるごみ集積所の管理における問題に対する本補助金を活用した改善策等を併せて周知すべきであった。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
本補助金は、戸別収集の導入により、戸建住宅に住む市民に対しては、集積所の管理に係る負担の軽減が期待される一方、集合住宅に住む市民に対しては、排出方法に変更がなく、戸別収集により期待される効果が十分に発揮されないことが懸念されたことから、実施したものである。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持				低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持																		
	低下																		
本補助金の活用により、ごみの散乱防止など、集合住宅におけるごみ集積所の管理の充実に一定の効果が得られたところであるが、補助金の交付期間は、当初から戸別収集を導入する令和4年度限りとしていたため、本事業を終了する。																			

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	廃棄物資源分別事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	環境 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画		
目的	市民の家庭等から収集等をした資源ごみの中から資源になるものを市内のリサイクルセンターに搬入、選別し、資源化処理を行う。 回収品目は、金属類、びん類、ペットボトル、紙類、布類、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）である。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	回収した資源物（金属類、びん類、紙類、布類）は資源化業者に売却し、ペットボトル、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）は資源化業者に資源化処理を委託する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	目標指標 資源化率（エコセメントを含む。）	%
			実績	34.7	35.4	
			達成率	99%	96%	
2	モニター指標 資源化率（エコセメントを除く。）	%	目標	26.4	28.3	28.5
			実績	27.1	27.9	
			達成率	103%	99%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		127,662	105,015	83,270		令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみの有料化及び戸別収集の導入に当たり、市民に対してごみの分別及び資源化について、わかりやすく周知すべきであるとの意見があった。
財源内訳	一般財源	78,723	57,522	28,743		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	48,939	47,493	54,527		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,994	2,064	1,923		
	所要人員（人）	0.25	0.27	0.25		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		129,656	107,079	85,193		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の資源物回収実績として、回収量は約3,724 t、資源化率は35.4%であった。 また、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（6月、8月、9月、3月）発行し、以下の内容を掲載して市民への周知及び情報提供を図った。 ●6月号：資源物の排出方法、資源化の推進 ●8・9月号：有料化及び戸別収集の導入に伴うごみの分別やごみの出し方 ●3月号：令和3年度と比較したごみの収集量の減少状況	市報、市ホームページ、ごみ情報誌等を使用し、資源物の分別について周知を図っているが、令和3年度のごみ組成分析調査において、資源物が可燃ごみに約22%、不燃ごみに約13%含まれていた。 このことから、家庭から排出されるごみの中には、一定量の資源物が含まれているため、市民に対し、更なるごみの資源化及び減量化に対する意識の向上を図るとともに、分別の徹底を促すことが重要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年10月から導入した家庭ごみの有料化及び戸別収集により、これまで一括回収していた容器包装プラスチックとペットボトルを分別収集し、直接、資源物中間処理施設に搬入している。 なお、分別の徹底については、市報、市ホームページ等を通じて周知することにより市民意識の向上を図るとともに、資源物の排出について、拡大生産者責任の観点から、店頭回収の利用を促していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）